

令和5年度

入学者選抜要項

令和5年度入学者選抜要項に記載した内容は、令和4年7月末現在の予定であり、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大等の状況により変更となる場合がありますので、出願に当たっては、今後公表する各募集要項等を必ず確認願います。



京都府公立大学法人

京都府立医科大学

Kyoto Prefectural University of Medicine

目 次

I	はじめに	1
II	アドミッションポリシー（入学者受入方針）	2
	1 医学科	2
	2 看護学科	3
III	募集人員	4
IV	試験日	4
V	入学者選抜方法等	5
VI	身体等に障害のある入学志望者との事前相談	5
VII	医学科一般選抜（前期日程）	6
	1 募集人員	6
	2 出願資格	6
	3 入学者選抜方法	6
	4 入学者選抜実施日程	8
	5 その他	8
VIII	医学科学校推薦型選抜	9
	1 募集人員	9
	2 出願資格及び推薦条件	9
	3 入学者選抜方法	10
	4 入学者選抜実施日程	10
IX	看護学科一般選抜（前期日程）	11
	1 募集人員	11
	2 出願資格	11
	3 入学者選抜方法	11
	4 入学者選抜実施日程	13
	5 その他	13
X	看護学科学校推薦型選抜	14
	1 募集人員	14
	2 出願資格及び推薦条件	14
	3 入学者選抜方法	14
	4 入学者選抜実施日程	14
XI	募集要項等の交付	15

I はじめに

世界トップレベルの医療で明日を拓く

～これまでも、これからも～

本学は、1872年（明治5年）に療病院として創立され、今年（2022年）150周年を迎える、我が国有数の歴史を持つ単科の医科大学です。

医学科と看護学科の2学科からなる医学部では、下鴨、河原町、広小路の3学舎で約1,000名の学部学生が学んでいます。

本学では教育はもとより、研究にも力を注いでいます。教員一人当たりの公的研究費獲得は、常に本邦の大学のBest10以内にあり、本学附属病院の高い診療レベルとともに本学の大きな特徴となっています。また、教育面においては、地域医療実習や国際交流にも重点的に取り組み、医学科では海外で臨床実習にchallengeする学生が増えてきています。

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、本学附属病院では令和2年1月以降、特定機能病院として超急性期に対する高度な診療を実施しながら、同時に京都府唯一の第一種感染症指定医療機関として、最重症の患者さんの対応に最大限の努力を行ってきました。

令和5年度の入学者選抜も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、受験生の皆さんには大きなストレスがかかっていると思います。ただ、今ほど医療に熱い視線が注がれている時はないとも言えます。これからの医学について学びたいと考えている皆さん、我々と一緒に希望に満ちた医療の明日を拓き、世界に発信しませんか。待っています。

京都府立医科大学 学長 竹 中 洋

Ⅱ-1 京都府立医科大学医学部医学科アドミッションポリシー(入学受入方針)

京都府立医科大学は、明治5年(1872年)青蓮院に設立された療病院を起源とする日本最古の医科大学の1つである。長い歴史の中で、国際的視野に立って知を創造するとともに継承・発展させ、新たな課題に立ち向かう使命感を校風の核とし、国内外に質の高い診療・教育・研究成果を還元してきた。

このような歴史と伝統に磨かれ形となったのが本学の理念「世界トップレベルの医学を地域へ」である。高度の専門的な医学的知識・技術の修得はもとより、高い倫理観と幅広い教養を備えつつ地域の医学・医療に取り組み、その成果を地域から世界へ発信できる優秀な人材を育成・輩出し、社会の要請に応えるために次のような学生を求める。

- 1 生命の尊厳を重んじ、医学者・医師の職責を自覚し全うできるための人間愛と高い倫理観を有する人
- 2 「学問の都」京都で自ら医学を学び、他者と連携しながら生涯にわたって研鑽をつみ、地域の医療に最善を尽くす熱い意志と探究心を有する人
- 3 国際的視野に立ってトップレベルの医学・医療を京都から世界へ発信できるための向上心と自ら考え学ぶ力を持った人
- 4 すぐれた医学・医療を地域に展開するために必要な使命感とともに、リーダーシップとコミュニケーション力を有する人

【入学者選抜の方針】

高等学校等で学習する全ての教科が医学科教育の土台になるため、各教科における基礎学力を幅広く評価する。なかでも、数学・理科、および国際公用語となっている英語の基礎学力は必須であり、さらに人との交流が基盤となる医療と医学研究の場では国語力が重要である。

入学試験では、一般選抜と学校推薦型選抜を実施しており、筆記試験によって学力および論理的思考力などを評価し、面接では医学・医療への志や意欲を評価する。

Ⅱ-2 京都府立医科大学医学部看護学科アドミッションポリシー(入学受入方針)

京都府立医科大学医学部看護学科の歴史は長く、明治22年(1889年)の全国で初めてとなる京都医学校附属産婆教習所の開設に始まり、歴史と伝統に支えられて、開学以来1万人を超える卒業生を輩出してきました。

本学は、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、生命及び人間の尊厳を基盤に、豊かな人間性と創造性を培い、高度な専門知識や技術など看護専門職として総合的な能力を有し、看護学の発展及び保健医療と福祉の向上に貢献できる人材を育成するため、次のような学生を求めます。

1 心豊かに人と接することができる人

看護は対象となる人々との間に築かれる信頼関係を基盤として成立する。そのため、看護師は、人とのかかわりを大切にし、他者を理解し、あらゆる人々の尊厳を重視し、高い倫理観を持つことが求められる。

2 幅広い基礎学力を持ち、自ら考え学ぶ力のある人

看護学を学ぶためには、幅広い基礎学力と主体的な学習態度、そして自分で考える力が求められる。あわせて、看護学を学ぶことの意味を考えつつ、自ら大きく成長しようという意志が必要である。

3 看護への関心があり、看護職として広く活躍したい人

看護を実践するには、専門的な知識・技術及びグローバルな視野に基づく判断力や実践力が求められる。また、地域医療に関心を持ち、保健医療福祉領域などで連携しながら看護を実践できる協調性、責任感が必要である。

4 生涯、看護活動に関わり、社会に貢献する意志のある人

めまぐるしい社会ニーズの変化に対応するために、生涯にわたり学習を継続しながら看護を実践しようという意志が必要である。

【入学者選抜の方針】

将来、日本や世界で活躍できる看護師、保健師、助産師を育成している本学では、広く社会と人に関心を持ち、主体的に学び、粘り強く探求出来る学生を求めます。

本学科で学ぶためには、高等学校での幅広く高い基礎学力を必要とします。特に専門基礎科目を理解し学ぶために、高校でその基礎となる理科や数学の知識をしっかりと身につけておくことが必要です。さらに看護学を学び看護ケアを理解するために、高校生活で豊かな感受性を磨くと共に、論理的思考力を充分に養っておくことが必要となります。

入学試験は、一般選抜と特別選抜(学校推薦型選抜)を実施しており、学力および論理的思考力などと併せて、看護への関心や意欲を総合的に評価します。

Ⅲ 募集人員

学 科	入 学 定 員	募 集 人 員	
		一 般 選 抜 (前期日程)	学校推薦型選抜
医 学 科	1 0 7	1 0 0	7
看 護 学 科	8 5	4 5	4 0

(注) 医学科及び看護学科とも、後期日程の募集は行いません。

Ⅳ 試験日

学 科	試験種別	試 験 日
医 学 科	一般選抜 (前期日程)	令和5年2月25日 (土) [第2次学力試験、小論文試験] 令和5年2月26日 (日) [面接試験]
	学校推薦型選抜	令和5年2月11日 (土・祝) 又は2月12日 (日) [面接試験]
看 護 学 科	一般選抜 (前期日程)	令和5年2月25日 (土) [第2次学力試験] 及び「面接試験」
	学校推薦型選抜	令和4年11月26日 (土) [小論文試験] 及び「面接試験」

(注) 医学科の学校推薦型選抜における試験日は、上表に記載した両日のいずれか1日となります。

V 入学者選抜方法等

- 本学の入学者選抜は、一般選抜と学校推薦型選抜により実施します。
- 一般選抜の個別学力検査等は、分離・分割方式の前期日程により実施します。
- 本学の学校推薦型選抜と一般選抜（前期日程）の併願は可能です。

【出願・受験上の注意】

- 国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う大学を除く。以下同じ。）志願者は、前期日程、後期日程及び公立大学中期日程からそれぞれ1つ、合計3つまでの大学に出願し、受験することができます。
- 1つの国公立大学に入学手続を完了したときは、それ以後にこれを取り消して、他の国公立大学へ入学手続を行うことは認められません。
- 学校推薦型選抜の合格者については、特別な事情により本学から入学の辞退を許可された者を除き、他に出願済の国公立大学を受験しても、その大学の合格者とはなりません。

VI 身体等に障害のある入学志望者との事前相談

本学に入学を志望する者のうち、身体等に障害を有する者で受験上又は修学上特別の配慮を必要とする者は、令和4年12月15日（木）【看護学科学校推薦型選抜については令和4年9月30日（金）】までに本学教育支援課入試係まで問い合わせの上、文書で照会してください。

VII 医学科一般選抜（前期日程）

1 募集人員 100名

2 出願資格

入学を志願できる者は、令和5年度大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」という。）で本学の指定する全ての教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下、「高等学校等」という。）を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校等の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で令和5年3月31日までに18歳に達する者
- (7) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上必要。その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (8) その他、本学において、相当の年齢に達し、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

（注）出願資格（8）による入学資格の認定を希望する者は、募集要項に記載する期日の間に、本学教育支援課入試係まで問い合わせの上、文書で申請してください。

3 入学者選抜方法

(1) 共通テストの利用教科・科目

入学者選抜に用いる共通テストの教科・科目は、国語、地理歴史又は公民、数学2科目、理科2科目及び外国語の5教科7科目です。

共通テストの利用教科・科目名	
国語	『国語』 必須
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』
数学	『数学Ⅰ・数学A』 必須 『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』から1科目
理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目

<注1> 外国語において英語を受験した場合（リスニングを免除された場合を除く。）は、リーディング及びリスニングのいずれも受験しなければなりません。

<注2> 数学のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校等でこれらの課程を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(2) 第1段階選抜

入学志願者数が募集人員の3倍を超えた場合は、共通テストの成績により第1段階選抜を行い、募集人員の約3倍の合格者を決定します。

(3) 第1段階選抜に用いる共通テストの配点は次のとおりです。

国 語	地理歴史、公民	数 学	理 科	外 国 語	計
200	100	200	200	200	900

<注1> 地理歴史及び公民の2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用します。

<注2> 英語でリスニングを免除された場合は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算します。

(4) 第2段階選抜

第1段階選抜の合格者について、共通テスト、本学が実施する第2次学力試験、小論文試験及び面接試験の成績並びに出身学校長から提出された調査書を基にして第2段階選抜を行います。

(5) 第2次学力試験、小論文試験及び面接試験

ア 試験日 第2次学力試験、小論文試験 令和5年2月25日(土)

面接試験 令和5年2月26日(日)

イ 第2次学力試験、小論文試験の実施教科・科目及び試験時間

教科名	科 目 等	試験時間
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B	120分
理 科	「物理(物理基礎・物理)」、「化学(化学基礎・化学)」、「生物(生物基礎・生物)」から2科目選択	150分
英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	120分
小論文	課題に対する論述	50分

(注) 数学Bは「数列」、「ベクトル」から出題します。

ウ 小論文試験

課題に対する論述について、調査書等とともに面接試験において活用します。

エ 面接試験

第2次学力試験の受験者全員に対し行い、アドミッションポリシーに従い、資質、適性を評価します。

なお、面接試験の結果によって、資質、適性を欠くと判断されれば、共通テスト及び第2次学力試験の成績にかかわらず不合格とします。

(6) 第2段階選抜に用いる共通テスト及び第2次学力試験の配点

共通テスト					第2次学力試験			小論文試験 面接試験	総 計
国 語	地理歴史、公民	数 学	理 科	外国語	数 学	理 科	英 語		
100	50	100	100	100	200	200	200	—	1050

(注) 共通テストの各科目の得点は2分の1に圧縮します。

4 入学者選抜実施日程

出願受付	令和5年1月23日（月）から 2月3日（金）まで（必着）
第1段階選抜の合格者発表	令和5年2月14日（火）
第2次学力試験	令和5年2月25日（土）、26日（日）
第2次学力試験（追試験）	令和5年3月7日（火）予定
合格者発表	令和5年3月9日（木）
入学手続	令和5年3月15日（水）

5 その他

- (1) 追試験の内容、日程等については募集要項を参照してください。
- (2) 第2次募集は行いません。

VIII 医学科学学校推薦型選抜

1 募集人員 7名

2 出願資格及び推薦条件

入学を志願できる者は、次の（１）、（２）、（３）のいずれかに該当する者であって、以下①～④のすべての要件を備え、学校長が責任を持って推薦できる者としてします。

- （１）京都府内の高等学校若しくは中等教育学校を、平成31年3月以降に卒業した者又は令和5年3月に卒業見込みの者
- （２）高等学校若しくは中等教育学校（以下、「高等学校等」という。）を、平成31年3月以降に卒業した者又は令和5年3月に卒業見込みの者のうち、当該高等学校等を卒業前1年以上引き続き京都府内に住所を有する者又は保護者が令和4年4月1日以前から引き続き京都府内に住所を有する者<注1>
- （３）本学において、（１）又は（２）の者と同等以上の学力があり、（１）又は（２）の「京都府内」要件に照らして適当と認められた者<注2>
 - ① 高等学校又は中等教育学校後期課程における調査書学習成績概評がA又は㊦段階に属する者で、人物、学力ともに優秀であり、将来、医学の分野において社会に貢献する意欲のある者
 - ② 令和5年度大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」という。）において、本学が指定する5教科7科目を受験する者
 - ③ 京都府が設定する奨学金を受給し、本学卒業後、本学及び京都府が作成する「キャリア形成プログラム」に基づき、一定期間京都府が指定する医療機関において研修及び勤務することを確約できる者<注3>
 - ④ 合格した場合、本学に入学することを確約できる者

<注1>

保護者とは、親権を行う者又は後見人若しくはこれに準ずる者として京都府立医科大学長が認める者としてします（親権を行わない又は後見人でない祖父母や、おじ・おばは該当しない）。

<注2>

（３）による場合は、令和4年12月2日（金）までに、本学との事前協議が必要です。事前に教育支援課入試係へ連絡してください（電話075-251-5167）。

<注3>

本学校推薦型選抜は、平成19年8月文部科学省等の関係省庁連絡会議でとりまとめられた「緊急医師確保対策」に基づくものであり、入学者全員に対し、京都府が設定する奨学金制度が用意されています。

また、「医療法及び医師法の一部を改正する法律（平成30年法律第79号）」に基づき、この奨学金の受給者は、本学及び京都府が作成した「キャリア形成プログラム」により、本学卒業後に、京都府が指定する医療機関において最低9年間勤務又は研修に従事すること、うち原則として本学における3箇年の研修（卒後臨床研修医及び専攻医の組み合わせ。）に従事し、かつ卒後臨床研修修了後に京都府が定める地域医療機関において医師の業務に貸与相当期間従事することを条件としており、本学校推薦型選抜による入学者は、本奨学金を受給の上、京都府の地域医療に対する積極的な貢献が期待されています。

なお、本学校推薦型選抜枠は奨学金の受給と京都府が指定する医療機関での勤務を条件に認められているものであり、推薦者及び被推薦者は、この点を十分に理解した上で推薦、出願してください。

<その他>

本学校推薦型選抜の出願者は、本学の学校推薦型選抜に不合格であった場合に備えて、本学又は他の国公立大学の一般選抜に出願することができます。

なお、本学の一般選抜に出願する場合は、学校推薦型選抜の出願とは別に出願が必要です。

京都府地域医療確保奨学金制度及びキャリア形成プログラムの詳細は、京都府ホームページを参照してください。

(<https://www.pref.kyoto.jp/drkyoto/cope/scholarship/>)



3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、共通テストの成績、本学が実施する面接試験の結果、推薦学校長から提出された推薦書及び調査書並びに志望理由書を総合的に判定して行います。

(1) 共通テスト

入学者選抜の際に用いる共通テストの利用教科・科目及び配点は、次のとおりです。

共通テストの利用教科・科目名		配点
国語	『国語』 必須	200
地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	100
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 『倫理、政治・経済』 から1科目	
数学	『数学Ⅰ・数学A』及び『数学Ⅱ・数学B』 2科目必須	200
理科	「物理」、「化学」、「生物」 から2科目	200
外国語	『英語』 必須	200
合計		900

<注1> 共通テストにおいて、国語、地理歴史又は公民、数学2科目、理科2科目及び外国語の5教科7科目を受験する必要があります。また英語は、リスニングを免除された場合を除き、リーディング及びリスニングのいずれも受験する必要があります。

<注2> 地理歴史及び公民の2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用します。

<注3> 英語でリスニングを免除された場合は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に、換算します。

(2) 面接試験

① 試験日 令和5年2月11日(土・祝)又は2月12日(日)

② 面接試験は、医師となるにふさわしい資質・適性に加えて、京都府の地域医療に貢献する意欲をアドミッションポリシーに従い評価します。

③ 面接試験を欠席した者は、不合格とします。

④ 面接試験の集合時刻や会場など詳細については、受験票を送付する際に併せて通知します。

4 入学者選抜実施日程

出願受付	令和5年1月18日(水)から 2月3日(金)まで(必着)※
面接試験	令和5年2月11日(土・祝)又は2月12日(日)
合格者発表	令和5年2月14日(火)
入学手続	令和5年2月20日(月)

※ 本学の学校推薦型選抜の受験を志望し、共通テストの追試験を受験する者は、追試験を受験することが判明した段階で、本学教育支援課入試係(電話 075-251-5167)まで申し出てください。

Ⅸ 看護学科一般選抜（前期日程）

1 募集人員 45名

2 出願資格

入学を志願できる者は、令和5年度大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」という。）において本学の指定する全ての教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者となります。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下、「高等学校等」という。）を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校等の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者で令和5年3月31日までに18歳に達する者
- (7) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上必要。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者
- (8) その他、本学において、相当の年齢に達し、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

（注）出願資格（8）による入学資格の認定を希望する者は、募集要項に記載する期日の間に、本学教育支援課入試係まで問い合わせの上、文書で申請してください。

3 入学者選抜方法

(1) 共通テストの利用教科・科目

入学者選抜に用いる共通テストの教科・科目は、国語、地理歴史又は公民、数学2科目、理科1科目又は2科目及び外国語の5教科6科目又は7科目です。

共通テストの利用教科・科目名	
国語	『国語』 必須
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」
公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、『倫理、政治・経済』
数学	『数学Ⅰ・数学A』 必須
	「数学Ⅱ」、『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』から1科目
理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目 または、「物理」、「化学」、「生物」から1科目
外国語	『英語』 必須

<注1> 外国語において英語を受験した場合（リスニングを免除された場合を除く。）は、リーディング及びリスニングのいずれも受験しなければなりません。

<注2> 数学のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校等でこれらの課程を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込みを含む。）者に限ります。

(2) 第1段階選抜

入学志願者数が募集人員の3倍を超えた場合は、共通テストの成績により第1段階選抜を行い、募集人員の約3倍の合格者を決定します。

(3) 第1段階選抜に用いる共通テストの配点は次のとおりです。

国語	地理歴史、公民	数 学	理 科	外 国 語	計
200	100	200	200	200	900

<注1> 地理歴史及び公民の2科目を受験した場合は、第1解答科目の成績を採用します。

<注2> 理科について、採用する得点は下表のとおりであり、当該得点を200点満点に換算します。

基礎を付した科目(a)	基礎を付していない科目(b)	理科の成績として採用する得点
2科目受験 (2科目合計点を採用)	受験せず	(a)の得点
2科目受験 (2科目合計点を採用)	1科目受験	(a)と(b)の高得点の方を採用
受験せず	1科目受験	(b)の得点
受験せず	2科目受験 (第1解答科目得点を採用)	(b)の得点

<注3> 外国語(英語)において、リスニングを免除された場合は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算します。

(4) 第2段階選抜

第1段階選抜の合格者について、共通テスト、本学が実施する第2次学力試験及び面接試験の成績並びに出身学校長から提出された調査書を基にして第2段階選抜を行います。

(5) 第2次学力試験及び面接試験

ア 試験日 令和5年2月25日(土)(面接試験は、第2次学力試験の終了後に行う。)

イ 第2次学力試験の実施教科・科目及び試験時間

教科名	内 容	等	試験時間
総合問題	基礎的学力及び理解力、思考力、表現力を評価します。		「総合問題(英語)」 「総合問題(小論文)」 各50分(計100分)

ウ 面接試験

第2次学力試験の受験者全員に対し行い、アドミッションポリシーに従い、資質、適性を評価します。

なお、面接試験の結果によって、資質、適性を欠くと判断された場合、共通テスト及び第2次学力試験の成績にかかわらず不合格とします。

(6) 第2段階選抜に用いる共通テスト及び第2次学力試験の配点

共通テスト					第2次学力試験	面接試験	総 計
国語	地理歴史、公民	数 学	理 科	外国語	総合問題		
200	100	200	200	200	200	—	1100

4 入学者選抜実施日程

出願受付	令和5年1月23日(月)から 2月3日(金)まで(必着)
第1段階選抜の合格者発表	令和5年2月14日(火)
第2次学力試験	令和5年2月25日(土)
第2次学力試験(追試験)	令和5年3月7日(火) 予定
合格者発表	令和5年3月9日(木)
入学手続	令和5年3月15日(水)

5 その他

- (1) 追試験の内容、日程等については募集要項を参照してください。
- (2) 第2次募集は行いません。

X 看護学科学校推薦型選抜

1 募集人員 40名（各校の推薦は2名以内とする。）

2 出願資格及び推薦条件

入学を志願できる者は、次の（１）、（２）、（３）のいずれかに該当する者であって、以下①～④のすべての資格・要件を備え、学力、人物ともに優秀であり、学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

- （１）京都府内の高等学校若しくは中等教育学校を令和５年３月に卒業見込みの者
- （２）高等学校若しくは中等教育学校（以下、「高等学校等」という。）を令和５年３月に卒業見込みの者で、本人又は保護者が令和４年４月１日以前から引き続き京都府内に住所を有する者
- （３）本学において、相当の年齢に達し、高等学校等を令和５年３月に卒業見込みの者と同等以上の学力があり、（１）又は（２）の「京都府内」要件に照らして適当と認めた者

- ① 本学卒業後、京都府立医科大学附属病院をはじめとする京都府内の医療機関等において、看護職者として保健・医療及び福祉に貢献しようとする強い意志を有する者
- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上である者
- ③ 高等学校等において、数学及び理科に係る次の科目を履修した者又は出願時点において現に履修している者
 - ・数学：「数学Ⅱ」及び「数学B」
 - ・理科：「物理」、「化学」及び「生物」のうち1科目以上

④ 合格した際に入学を確約できる者

<注1> （３）による場合は、令和４年８月１２日（金）までに、本学との事前協議が必要で（事前に、本学教育支援課入試係へ連絡のこと。電話 075-251-5167）。

<注2> 保護者とは、親権を行う者又は後見人若しくはこれに準ずる者として京都府立医科大学長が認める者としてします（親権を行わない又は後見人でない祖父母や、おじ・おばは、該当しない。）。

3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、小論文試験及び面接試験の結果並びに出身学校長から提出された推薦書、調査書及び志望理由書を基に行います。

（１）試験日 令和４年１１月２６日（土）（面接試験は、小論文試験の終了後に行う。）

（２）小論文試験及び面接試験

ア 小論文試験

教科名	内容等	試験時間	配点
小論文	課題に基づいて論述させ、理解力、思考力及び表現力を評価します（英文による出題を含む。）。	「小論文①」 50分 「小論文②」 50分	「小論文①」 100点 「小論文②」 100点

イ 面接試験

アドミッションポリシーに従い、資質、適性を評価します。

4 入学者選抜実施日程

出願受付	令和４年１１月 １日（火）から １１月 ８日（火）まで（必着）
小論文試験及び面接試験	令和４年１１月２６日（土）
合格者発表	令和４年１２月 ２日（金）
入学手続	令和４年１２月１６日（金）

XI 募集要項等の交付

一般選抜に関する細目を記載した募集要項及び出願書類は、9月下旬から交付する予定です。
出願書類の郵送を希望する者は、次の方法で請求してください。

なお、学校推薦型選抜の募集要項は、医学科については9月下旬以降に、看護学科については7月中旬以降に、京都府内の各高等学校長等に送付します。

(1) 大学のホームページから請求する場合

本学のホームページからテレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料請求ができます。

【HPアドレス】 <https://www.kpu-m.ac.jp/>

(2) テレメールで請求する場合

① テレメールのサイトにアクセスしてください。



<https://telemail.jp>

テレメール 検索

※バーコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要



② 資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金（送料）	発送開始日
大学案内	5 6 4 7 1 2	180円	8月中旬発送予定
入学者選抜要項	5 8 4 7 1 2	180円	8月中旬発送予定
入学者選抜要項＋大学案内	5 6 4 7 0 2	215円	8月中旬発送予定
医学科一般選抜募集要項	5 8 9 7 2 2	180円	9月下旬発送予定
医学科一般選抜募集要項＋大学案内	5 4 4 7 2 2	215円	9月下旬発送予定
看護学科一般選抜募集要項	5 8 9 6 9 2	180円	9月下旬発送予定
看護学科一般選抜募集要項＋大学案内	5 4 4 7 1 2	215円	9月下旬発送予定

③ ガイドンスに従って登録してください。

※1週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

※料金は変更になる可能性があります。

(1) (2) の請求方法、料金等についての問合せ先

テレメールカスタマーセンター Tel 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(3) 大学に直接請求する場合

学校推薦型選抜の募集要項のみとなります。一般選抜募集要項、大学案内は、テレメールを利用してください。

郵便番号、住所及び氏名を明記の上、下記料金の郵便切手を貼った返信用封筒（角型封筒2号 33.2mm×24.0mm）を同封し、希望する資料名（例：「看護学科 学校推薦型選抜募集要項請求」）を朱書きして本学教育支援課入試係あてに請求してください。

<返信用封筒に貼付する切手>

・医学科 250円

・看護学科 210円

※料金は変更になる可能性があります。

※要項を複数請求する場合は、本学教育支援課入試係（TEL 075-251-5167）に問い合わせてください。

【請求先】 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
京都府立医科大学教育支援課入試係

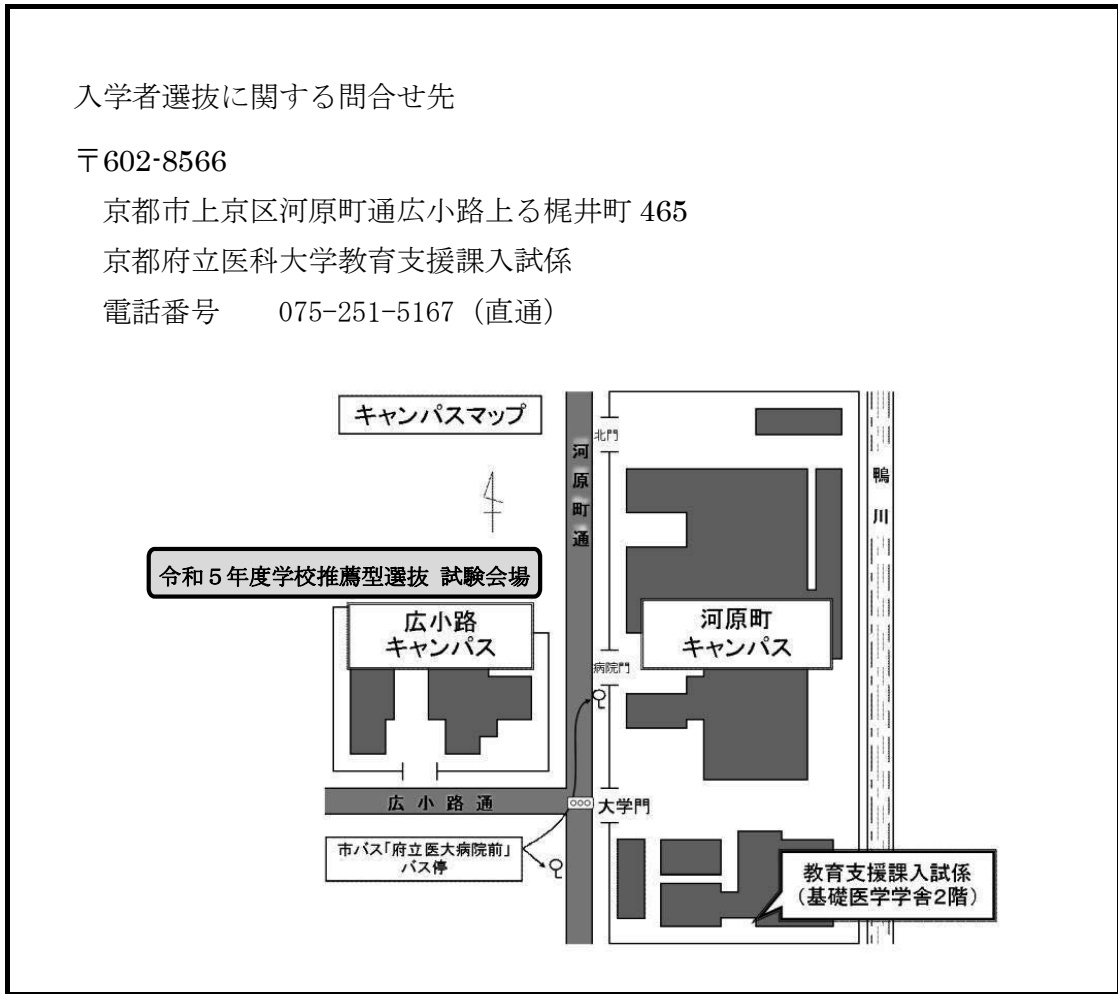
入学者選抜に関する問合せ先

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465

京都府立医科大学教育支援課入試係

電話番号 075-251-5167 (直通)



令和5年度一般選抜(前期日程)試験会場:池坊短期大学

